

地震・雷・火事・親父 (ニュースレターのタイトルです)



ハイライト

- 標準サービス「多言語対応」活用法
- 「多言語対応」の便利な機能 BCP対策としても活用を!



落ち葉の季節となりました。お元気でご活躍のことと存じます。今回は繰り返しになりますが、便利な標準サービス「多言語対応」をご利用いただきたくご案内しました。

● 「多言語対応」は標準サービスです。

介護施設や病院で外国の技能実習生や職員の方が活躍している姿は、今では珍しいものではなくなりました。ところが「日本語は難しい」「特に漢字が分からない」「日本語メールが分からない」など、漢字が外国人職員意思疎通や情報共有の障害になっています。

最近では外国人技能実習生を受け入れる事業所も増え、外国で就労する外国人職員にとって漢字まじりメールのストレス解消にお役に立てればと「火災一斉メール」を標準サービスにさせていただきます。

● 「多言語対応」の便利な機能

下図をご覧ください。職員様に普段通りメールを一斉配信した場合、日本人には普通に日本語で配信され、外国人実習生には母国語に翻訳さ

れ配信されます。

また返信する場合、外国人職員は母国語で返信すれば自動翻訳され日本語で返信を受け取ることができます。もちろん日本人は日本語でそのまま返信されます。

現在のところ対応できる言語は、インドネシア語、クメール語 (カンボジア語)、タイ語、タガログ語 (フィリピン語)、ベトナム語、ミャンマー語、ネパール語、英語に対応しています。ご希望を伺いながら順次対応する予定です。

日常連絡でもお使いいただけますが、災害など緊急に一斉メール配信したい場合、外国人職員に翻訳ソフトで個別に配信することはできません。緊急時にお役に立てると思います。

操作は、外国人実習生の母国語を選択するだけの簡単操作です。取扱説明書は、管理画面のオプションコーナー「多言語対応」からダウンロードしてご利用下さい。

今月も皆様方がのびのび活躍されますことをお祈りしています。

(有)加藤電工 担当者 加藤 初徳

